

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成28年1月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は10から3に減少。「減少した」業種は5から11に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は11から8に減少。「減少した」業種は8から15に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は4から1に減少。「悪化した」業種は8から13に増加。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は4から2に減少。「減少した」業種は13から12に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は10から9に減少。「減少した」業種は8から11に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は5から3に減少。「悪化した」業種は17から14に減少。

製造業

豆腐製造

【県内全域】

景況の変化は、大きな変化ありません。業界動向は、町店の魅力について見直す動きがあります。

酒類製造

【県内全域】

冬の需要期であるが、料飲店が低調で前年比下回る。

乳製品

【県内全域】

組合の事業活動は、ヨーグルト類の拡売の取組を実施する。(2~3月)

製材

【木更津】

南洋材1隻入港。米材船・ロシア船入港なし。在庫は減少している。

印刷

【県内全域】

1月の県内組合員受注売上は、年始休業による稼働日の減少に加え、景況感から来る消費マインドの冷え込み等の影響により、印刷需要は芳しくなかったようです。このような状況下、未だデフレが完全に解消できていません。大企業を中心に昇給や冬・季賞与の増額が行われ、一部では消費マインドが上向いていますが、市民全体が実感する程の実質賃金上昇にはまだまだ時間が掛りそうです。

鉄工

【千葉】

景況の変化について、大多数の

組合員各社動向は、特段の変動もなく横ばい推移が続いている。直近での補正予算成立を受け、ものづくり等補助金の活用を呼びかけている。

機械部品製造

【野田】

景況の変化については、中国、韓国向け輸出が対前年比減少傾向にある。

機械部品製造

【流山】

景況の変化については、特に変化がないが、海外の株価により影響が出そうである。

機械部品製造

【柏】

全体的に低調(中国の減速の影響大)但し、試作・医療等については、動きが活発(少量・短納期)業界動向は、開発は各分野とも要請、依頼は多い。

金属製品製造

【船橋】

景況の変化は、受注、売上に増減は感じられない。

採石

【県内全域】

今月出荷分は先月と同様にわずかで前年比大幅の落ち込みとなっている。今後とも、港湾整備に伴う石材の需要はあるものの、採取場の廃止などにより採取地の減少と資源の枯渇により生産箇所が限られ、需給が追い付かない状況で

ある。

【土砂採取】

【県内全域】

景気の変化は、前月同様、先行きの見通しが不明、景気の変化が感じられないとの報告が多い。

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】

【鶏卵卸】12月中旬まで高値が続いていたが、年末に入り需要の低下、燃料価格の低下等により、一気に価格が下がり、平年並みの水準になっている。

【食肉卸売】

【千葉市他】

業界動向は、豚の病気（PED）の再発が見られる今後の生産頭数の減少が心配される。

【建築材料卸売】

【県内全域】

景気の変化について、全国セメント年間需要は、当初想定4600万トンであったが、上期時点で4500万トンに。12月時点で4400万トンに下方修正され1月更に落ち込んでいるためもう一段修正される。

【自動車解体】

【県内全域】

景況の変化は、スクラップ価格は前月に持ち直す気配があったが、再度下落。1月は稼働日数も少なく業績悪い。

【乾物卸売】

【県内全域】

景況の変化は、やや後退気味（海苔不足に起因）業界動向は、海苔生産量が回復傾向にある。

【卸売】

【茂原】

相変わらず客の動向は良くありません。気候の変化も激しく、寒暖の差も激しく街行く人々の購買意欲もわかない様子である。

【電気機器小売】

【県内全域】

景況の変化について、マイナス金利の影響で、円安、株高が数日続いたが元の黙阿弥、また株安が始まった。世界中の不景気感が否めない。

【青果小売】

【千葉市】

年末は暖かく、入荷量も多かったので安定して売上も取れたが、年明けより入荷量が減り、値段が安定しなくなった。

【中古車仕入・販売】

【県内全域】

景況の変化は、流通している車輜台数が減少していると感じる。組合員店舗で社員を募集しても応募がなく、人員確保に苦労をしている情報も寄せられている。

【小売】

【東金】

景気の変化として、ファッション関連品は、正月は暖かい日が続き伸びず、その後寒くなり動きが

あった。

【小売】

【野田】

景況の変化について、初売りは価格訴求型のセールで昨年並みの売上は確保できたが、高額商品に對しては、消費者の買い控え傾向がうかがえる。

【小売・サービス】

【柏】

景況の変化について、暖冬のせいもあり後半の真冬日が来るまでは、例年より来街者は多いように見受けられたが、売上には結びついていないのが現状である。後半寒さが増してからは余計良くない。

【自動車一般整備】

【柏】

今年に入り、車検板金の入庫台数が予想以上に落ち込んでしまった。

【建設揚重】

【県内全域】

景況の変化は下降傾向。特に地域による温度差が大きい。

【遊覧船】

【鴨川】

景況の変化について、1月は途中欠航を含め欠航が6日（前年同月3日）あったが、年始の乗客が多く前年同月比で約14%の伸びとなった。また、売上高も前年同月比で112%の伸びとなった。

【一般廃棄物処理】

【千葉】

繁忙期である前月と比べると、

だいぶ落ち込んだ年になりましたが、例年より若干よい結果となりましたので、1年のスタートとしては上々だと思います。

【学習塾】

【県内全域】

中3生の中で例年早めに退塾する（私立や部活動での事前確約で、合格間違いなしと言われている生徒）生徒がおり、その分経営にはマイナスである。

【土木建築サービス】

【県内全域】

県から5年に一度の「交通量調査」発注の年であり、組合員がその大半の事業を受注出来ており、年度末に向けて相応の活動が期待出来る状況にある。

【建設】

【県内全域】

1月の落札額は、所属組合の3分の2で、昨年実績を下回った。但し、年度ベースでは全所属組合が前年同期比では、僅かながらもプラスを維持している。

【貨物運送】

【野田】

燃料費の減少は嬉しいかぎりだが、良く考えるとガソリンの半値ほどだった軽油が今は1リットル10円ほどしか安くない。

【輸出入】

【県内全域】

1月の売上は前月比、前年同月比とも12月より減少しました。